

6月4日

七島藺の植え付けに挑戦

安岐中央小学校で、5年生37名が参加して「七島藺の植え付け体験」が行われました。七島藺工芸士の岩切千佳さんと七島藺農家の松原恵美さんの指導で、児童たちは学校の畑に七島藺を植え付けました。5年生の松原紗弥さんは「七島藺が育ったら、工芸品を作ってみたいです」と話していました。



6月1日

林業水産課に新たな協力隊が誕生

市の地域おこし協力隊に、東京都出身の河原紗希さんが新たに加わりました。河原さんは林業水産課に所属し、くにさきOYSTER(オイスター)の生産や販売促進に取り組みます。河原さんは「カキの養殖を学び、くにさきOYSTERの素晴らしさを広めたいです」と話していました。



5月29日

介護業界への就職を応援

本年度より市の「介護人材確保・定着・育成支援事業」が始まり、市内で介護サービス事業所に就職した方などに奨励金が支給されています。この日、高齢化支援課で支給決定通知書を受け取った矢野薫さん(安岐町成久)は「若者の就職を応援してくれて嬉しいです」と話していました。



5月28日

みんなで楽しく田植え体験

竹田津干拓(国見町榎海)で、竹田津小学校の全校児童19名が参加して「田植え体験」が行われました。市農業公社の有田幸三さんの指導で、児童たちは田んぼに稲苗を植え付けました。6年生の石川雅楽くんは「田んぼは温かくて気持ち良かったです。貴重な体験ができました」と話していました。



6月4日

環境土木科の1期生が初の田植え

国東高校の水田で、国東高校に今年4月に新設された環境土木科の1年生16名が参加して「田植え体験授業」が行われました。麻生雅光教諭は「田植えを通じて、農業土木における治水や利水を学んでほしいです」と話していました。また、参加した木村美羽さんは「楽しく田植えができ、農業に触れることができました。この経験を将来に活かしたいです」と体験の感想を述べてくれました。



5月31日

ドライブスルー企画が大盛況

新型コロナウイルスの影響を受けている市内の飲食店を支援しようと、市商工会青年部の主催で「ドライブスルーくにさき」が開催されました。会場となったアストくにさき駐車場には長い車列ができ、市内24店舗が用意した約800食は2時間ほどで完売しました。青年部長の和田圭介さんは「多くの人にお越しいただき、感謝しています。反省点を踏まえて、また企画したいです」と話していました。



市商工会青年部長の和田圭介さん